

令和8年度（地学基礎）シラバス

教 科	理科	科 目	地学基礎		
単 位 数	2	学 年	1	類 型	共通
教 科 書	高等学校 地学基礎 改訂版 (啓林館)		副教材	サンダイヤル 地学基礎の基本マスター 改訂版 (啓林館)	
学習目標	地学的な事象・現象についての観察を行い、自然に対する関心や探究心を高め、地学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第1部 地球の構造と活動 第1章 地球の構造 第2章 活動する地球 第2部 大気と海洋 第1章 大気の構造	・私たちの暮らす地球の大地がどのような特徴をもち、どのような活動が見られるのかを、様々な現象に関連付けながら理解する。
2 学期	第2章 太陽放射と大気 ・海洋の運動 第3章 日本の天気 第3部 移り変わる地球 第1章 宇宙と地球 第2章 地球史の読み方	・私たちの暮らす地球の大気・海洋がどのような特徴をもち、どのような活動が見られるのかを理解する。 ・私たちの暮らす地球の誕生から現在に至るまでの変遷について、一連の時間の中で捉えながら理解する。
3 学期	第3章 地球と 生命の進化 第4部 自然との共生	・地学基礎全体のまとめの部として、自然環境と人類の共生について、地学基礎の学習内容を人間生活と関連付けて考える。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・自然の事物・現象における原理・法則などの知識や考え方を理解することができる。 ・実験・実習の目的や実験の原理などを理解することができる。 ・観察、実験などの技能を身に付けている。	・定期考査 ・確認テスト ・課題 ・実習の取り組み
思考・判断・表現	・様々な現象から疑問を持ち、問題点を表現できる。 ・観察、実験などを通して、規則性や関係性を見いだして表現することができる。	・定期考査 ・確認テスト ・課題の取り組み
主体的に学習に取り組む態度	・身の回りで起きている現象に関心を持つ。 ・授業・観察・実験に意欲的に取り組み、より深く現象を理解し、追究しようとすることができる。	・授業に取り組む態度 ・実習における取組 ・課題等の提出 ・自己評価